

令和4年度 鹿児島空港ターミナルビル環境対策実績及び環境データ報告について

1. 令和4年度環境対策実績

- ① 館内温度設定
(冷房) 館内：24℃、レストラン系統23.5℃
(暖房) 館内：22℃、レストラン系統22℃
- ② 館内照明及び電照広告のLED化
- ③ 事務所窓への放射冷却フィルムの貼付
- ④ 空調機インバーター制御による運用の実施
周波数を制御することによって、モータ回転数をコントロールする。
- ⑤ BEMSの活用
各系統の電力や燃料使用量等の把握・分析を行っている。
- ⑥ 太陽光発電
令和4年度の太陽光発電量は、約63kWh（受電電力使用量の約0.8%相当）。



国際線空調機の更新



広告媒体（コットン）のLED化



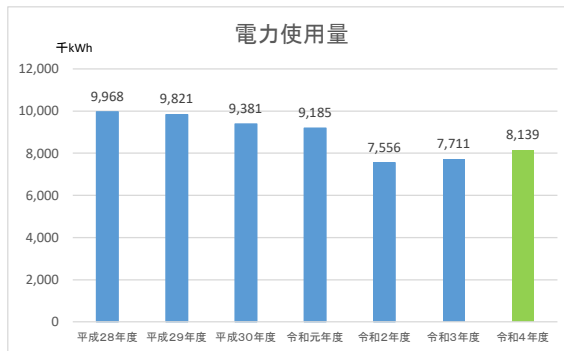
放射冷却フィルム貼付



太陽光発電（国内線ターミナル屋上）

2. 鹿児島空港ターミナルビル環境データ

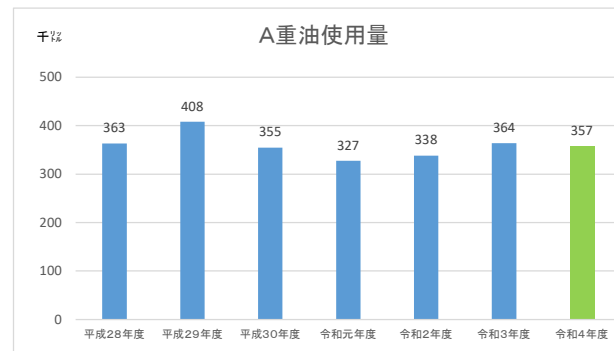
①電力使用量



【電力使用量について】

●新型コロナウイルス感染者数の減少による全国旅行支援の再開、国際線の再開など航空需要が回復したことより電力使用量は前年度比106%となりました。

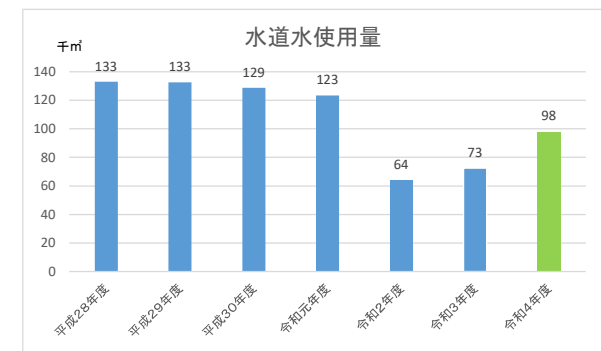
②A重油使用量



【A重油使用量について】

●A重油は、冷暖房の設備である吸収式冷温水発生機に使用されております。令和4年度の冬は局所的な冷え込みはあったものの、全体的には前年より暖かく暖房負荷が軽減されたため、A重油使用量は前年度比98%となりました。

③水道水使用量



【水道水使用量について】

●航空需要の回復により乗降客数が増加したこと、4月に飲食店が2店舗オープンしたことなどにより、水道水使用量は前年度比134%となりました。